

# 学校保管用個票（場面緘黙・保護者記入テンプレート）

A4縦・片面1枚想定／短文・箇条書きで記入／例は入力セルのコメント参照／完成後はPDF保存推奨

氏名（本人）		学年・組	
学校名		作成日	
記入者（保護者）		最終更新	

## 1. 学校での理解のポイント（固定文）

場面緘黙は、緊張や不安の高い場面などで話すことが難しくなる状態です。話さないことが、理解不足や意欲の低さを意味するとは限りません。発話以外の自己表現にも時間がかかることがあります。安心できる関係や見通しがあると、本人なりの意思表示や参加がしやすくなります。また、発話が難しい場合でも、やり取り自体を省略するのではなく、うなずきや筆記など、その場で可能な方法での参加を大切にすることが、行動の広がりや適応に繋がります。

## 2. 学校で把握しておきたい事項

※長文の来歴欄ではなく、学校が把握しやすい観点ごとに整理して記入する形式です。

医療・相談歴	
現在の発話 意思表示	
友人関係	
課外活動 校外での様子	
集団・行事での 様子	
趣味・興味関心	

## 3. 学校生活で参考になる事項

有効だった対応	
避けたい対応	
できていること 強み	
本人の希望	
家庭との連携事項	
保護者からの 共有事項	

## 4. その他記載事項（自由記述）

※上記の項目以外に必要な配慮・気になる点・伝えるべきことがある場合は記載※